

ポクスターとポクスター S に新エンジン

ポルシェ AG (本社: ドイツ、シュトゥットガルト 社長: Dr. ヴェンデリン・ヴィーデキング) の誇るオープンスポーツカー、ポクスターとポクスターSのエンジンが、8月1日から切り替わるニューモデルイヤー2007から、よりパワフルに、トルクフルに生まれ変わり、従来にも増して優れたロードパフォーマンスと低燃費が実現されることとなります。

ポクスターの2.7リッターエンジンの最高出力は5PS増えて245PS(180kW)を発生、最大トルクも273Nm/4,600rpmにまで増えています。EU準拠燃料消費量は9.3リッター/100kmで、0.3リッター/100km低減されています。ポクスターの0-100km/h加速は6.1秒で、最高速度は258km/hに達します。オプションで用意される6速トランスミッションを選択した場合は260km/hにまで達します。一方、ポクスターSのエンジンは総排気量が3.2から3.4リッターに拡大され、最高出力は先代モデルに対して15PS増の295PS(217kW)/6,250rpm、最大トルクは340Nmを発生します。ポクスターSの0-100km/h加速は僅か5.4秒で、先代モデルよりも0.1秒速くなっています。このオープンスポーツカーの最高速度は4km/h向上して272km/hにまで達します。EU準拠平均燃料消費量は10.6リッター/100kmです。

どちらのフラットシックスエンジンにも、可変バルブタイミングシステム(バリオカム)と可変バルブリフトシステム(プラス)を組み合わせた「バリオカム・プラス」バルブコントロールシステムが備わっています。吸気カムシャフトのタイミングは40度の範囲でロータリーベーンアジャスターによって制御されます。可変バルブリフトシステムは、吸気側に組み込まれたバケットタイプの2ステージ電子制御油圧式可変バルブリフターによって作動します。

このバケットタイプのバルブリフターは、内側のタペットと外側のタペットで構成され、シャフトに油圧がかかると2個のタペットは固定されます。このシステムにより、ポクスターとポクスターSエンジンは、低燃費と高出力を両立しています。

オプションのティプトロニックSトランスミッションとスポーツクロノパッケージにも新しい機能が追加されることになりました。

ポクスターとポクスターSには、油圧、電子制御系統そして可変シフトプログラムが見直されたティプトロニックSトランスミッションが用意されています。スポーツクロノパッケージと組み合わせると、この2つのミッドシップエンジンロードスターのスポーティな特性をさらに強烈に感じ取ることができます。シフトアップとシフトダウンはエンジン回転数が3000rpmを超えたときにのみ行われ、エンジnbrakeのためのシフトダウンはタイムラグが短縮され、より高回転域で行われます。マニュアルモードでは、エンジンがレブリミットに達した場合でも自動的にシフトアップされることはありません。

ボクスター、ボクスターSともにクーラントとエンジンオイルのフィルターキャップは開閉しやすいカバーの下に配置されたため、整備性だけでなくリアトランクの使い勝手も向上しています。

また、その動力性能の向上と合わせて、ボクスターとボクスターSには、ニュー911ターボのために専用開発された19インチターボ鍛造アロイツートンホイールも初めてオプションとして8Jx19（フロント）と9.5Jx19（リア）のサイズにて装着可能になっています。

<p><本件に関する読者からのお問い合わせ先> ポルシェ カスタマーケアセンター 0120-846-911 ポルシェ ホームページ http://www.porsche.co.jp</p>

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>
ポルシェ ジャパン株式会社
広報室／荒瀬大雅
〒153-0064 東京都目黒区下目黒 1-8-1 アルコタワー16F
TEL：03-5436-5923 FAX：03-5436-5919

ポルシェ ジャパンプレスサイト <http://press.porsche.co.jp>